

大河津分水サックスフェスタ

1. イベント概要

期 間：平成30年9月8日（日）10:00～17:30

会 場：信濃川大河津資料館ほか

内 容：大河津分水への感謝祭。みずべトークライブをはじめ、親子で楽しめるワークショップが開催されました。

主催者：Love River Net・つばめ若者会議 れっつばめ 参加者数：およそ220人



<p>みずべトークライブ 10:00-17:30 会場：資料館</p> <p>「みずべ」の歴史や、大河津分水の自然環境について、遠藤麻理さんとさとちゃんとの軽快なトークで、超満員の会場は盛り上がりました。</p>	<p>水辺のいきもの探検隊 10:00-11:00 会場：資料館</p> <p>水辺の生き物を探検し、観察し、写真撮影を行います。生き物の生態や生活環境について学びます。</p>
<p>竹水鉄砲 10:00-11:00 会場：資料館</p> <p>竹水鉄砲の作り方を学び、実際に飛ばしてみます。うまく飛ばせば10m飛ぶことも？記録が楽しみです。</p>	<p>風づくり 10:00-11:00 会場：資料館</p> <p>紙やストローなどを使って、簡単に風船を作ります。風を受けて浮き上がるインバーダー風。時折降りだす小雨にも動じず、大きく空を飛びました。</p>
<p>風づくり 10:00-11:00 会場：資料館</p> <p>紙やストローなどを使って、簡単に風船を作ります。風を受けて浮き上がるインバーダー風。時折降りだす小雨にも動じず、大きく空を飛びました。</p>	<p>キャンダルづくり 10:00-11:00 会場：資料館</p> <p>色紙やストローなどを使って、簡単に風船を作ります。風を受けて浮き上がるインバーダー風。時折降りだす小雨にも動じず、大きく空を飛びました。</p>
<p>アクアボール 10:00-11:00 会場：資料館</p> <p>水の中でのボール遊びを行います。水遊びが好きな子どもは大喜びです。</p>	<p>クラフト体験 10:00-11:00 会場：資料館</p> <p>シークラスにパーツを組合せて、アクセサリーを作りました。サックスフェスタ思い出の一品に仕上げました。</p>



リピーター続出の「みずべトークライブ」。遠藤麻理さんとさとちゃんさんの軽快なトークで、超満員の会場は盛り上がりました。

2. イベント状況

今年で4回目を迎えた『大河津分水サックスフェスタ』。恒例となった「みずべトークライブ」のほか、竹水鉄砲・風づくり・アクアボール・水辺の生き物探検隊・キャンダルづくり・アクセサリーのクラフト体験などの水に親しむ数々のイベントが催され、親子連れで賑わいました。前日からの雨のため、残念ながら中止となったアトラクションもありましたが、雨にも負けず、元気な子どもたちの声が絶えない一日となりました。

雨の後で水は濁っていましたが、生き物を見つけるには良好な条件で、ザリガニやエビ、ウグイ、フナなどたくさんの生き物たちを観察することができました。



固い竹をノコギリで切るのは大変です。お父さんの励ましを受けながら、上手に竹水鉄砲を作ることができました。

完成した竹水鉄砲を持って外で水鉄砲合戦。うまく作れば10m飛ぶことも？記録が楽しみです。



参加者は風にカラフルな絵を描き、一点物の凧作りに挑戦しました。仕上がった凧を手に、外に向かいます。



風を受けて浮き上がるインバーダー風。時折降りだす小雨にも動じず、大きく空を飛びました。



さまざまな形に成形した蠟のチップを瓶に配置します。チップの置き方に感性が光る作品ができました。



シークラスにパーツを組合せて、アクセサリーを作りました。サックスフェスタ思い出の一品に仕上げました。



大きなバルーンに入り、プールの上に浮かびました。バルーンの中は温かく、浮遊感が非日常を体験させてくれます。



資料館講座で大人気だった「あんどん」や、和傘のオブジェ、大河津分水を描いた絵葉書などが登場しました。

参加者の声



長岡市にお住まいの親子
参加イベント：生き物探検

近所に田んぼがありますが、最近では用水路の整備が進み、なかなか魚採りをして遊ぶことができなくなりました。魚採りが大好きな息子がはしゃぐ姿をみることでよかったです。

ご自宅に持ち帰る魚と一緒に撮影させていただきました。体験時間ギリギリまで、たくさんの魚やザリガニを捕まえています。



三条市にお住まいのお友達同士
参加イベント：クラフト体験

ひとつひとつ表情が違うシークラスを見ていて直感でネックレスを作ることになりました。石に合わせて紐の素材や色、飾りとなるチャームを厳選しました。ワイヤーを掛ける工程は難しいですが、シヨップの方が手伝ってください、楽しく作ることができました。さまざまなクラフトフェアに足を運んでいますが、シークラスを使った作品は初めて見ました。早速、身につけて作品を味わいます。